

# 札幌社保協 FAXニュース

2010年 3月20日(土)  
社保協事務局 発行  
Tel823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

今月の国保・介護  
・後期高齢者110  
番は3/25です

## グループホーム火災対策

# 国と市の助成を

## — 札幌社保協が市に要請 —



札幌社保協は3月19日、札幌市に対し、北区で起きたグループホームの火災事故に関して、緊急の対策を要請しました。要請には齊藤札幌社保協事務局長、勤医協在宅、東区のグループホーム、北区社保協、福祉保育労の代表ら12人が参加し、高木正行介護保険課事業指導担当課長に要請書を渡しました。

要請は1. スプリンクラーの設置を275㎡未満の施設も対象にして、国に助成金の引き上げを要請してください、市としての助成を早急に実施してください、2. 火災緊急システムをすべての住居施設に設置するようにし、国と市の助成をしてください、3. 夜勤の複数配置ができるように介護報酬の引き上げを国へ要請してください、の3項目です。

### 火災対策のために、ぜひ国と市の助成を

高木課長は「要請内容はよく分かります。市としても保健福祉局、都市局、消防局でプロジェクトを作り、対応策を検討することになっています」と説明。参加者から「市の単独助成を早急に行ってほしい」「助成金基準（1㎡9000円）では事業所負担が重く、市の助成では引き上げてほしい」という要請には、「16日に札幌市として国へスプリンクラー設置の要請に行ったが、国もプロジェクトを立ち上げて1ヶ月以内に検討したいと言っており、その結果を待って検討したい」と答えました。

参加者からは「介護施設は厳しい中で事業をやっており、防火対策への補助をぜひお願いしたい」「介護職員の中には1人当直が怖い、と言っている人もいます。せめて複数で当直できるような介護報酬にしてほしい」と切実な声が出されました。最後に「安全や防火対策に万全を期すことは当然ですが、そのための費用を工面できない施設が増えれば閉鎖に追い込まれ、高齢者の行き場が無くなってしまいますので、そのようなことが起きないように国と市の援助を」と、強く要請しました。

### 利用者負担増も？

東区のグループホームに消防の査察があった際には、入居者の部屋のじゅうたんも防災加工製にするようにと指導がありました。入居者の部屋のは入居者の負担となるため、簡単に交換とはならないものです。火災対策は当然ですが、一方的な「改善指導」では問題解決にはなりません。

## 変えよう格差社会、即廃止「後期高齢者医療制度」

### 北区社保協が2010年総会を開催

北区社保協は3月13日、北区内で2010年度総会を開催し、加入団体から20人が参加しました。

記念講演では、道社保協吉岡事務局長が「今日の社会保障・福祉をめぐる情勢と課題」について講演しました。

参加者からの発言では、守る会～今年に入って国保料が払えないという自営業の人の相談が増えている、勤医協ぼびらクリニック～国保の死亡事例と無料・低額診療制度で治療に結び付けている事例、民商～昨年は緊急保証融資の活用があったが、1年たって状況が変わらないため、返済の相談が多くなっている、勤医協在宅～介護予防サービスが始まってから福祉用具が使えないなどの例、年金者組合～年金支給日に宣伝を続けている、新婦人～昨年介護保険アンケートをやり市と懇談も行った、ヒブワクチン助成署名にとりくみ札幌市が助成を決めた、などがありました。



変化をチャンスに！

## 3.28道民大集会

3月28日(日)12:50～14:00  
大通り西8丁目広場